

# 第 I 編 事業の目的及び内容

## 第1章 事業の目的

沖縄県は、度々渇水に見舞われ、生活水の確保に苦勞してきた。そのため、雨水の有効利用に向けた下記の手引き等を作成し節水型社会の形成に努めてきた。

- 雨水利用の手引き 平成5年3月 沖縄県企画開発部振興開発室
- 雨水利用マニュアル 平成5年3月 沖縄県企画開発部振興開発室
- 雨水利用技術指針（一般住宅用）平成5年3月 沖縄県企画開発部振興開発室

現在ではダム等の整備により通常時の生活水の確保の面では概ね問題がなくなってきたが、昨年発生した東日本大震災のような災害等により水道施設に被害を受けた場合、島しょ県である沖縄県は陸路での応急給水体制の確保が困難な状況にある。そのため、沖縄県では、応急給水水源として雨水・地下水等を市町村または地域単位で確保することが他県に比べて有効であると考えられる。本業務ではその利活用状況について沖縄県及び東日本大震災被災地域の状況を調査し、雨水等の有効利用を図るための手段について調査検討を行う。

本業務は、これらの結果を踏まえ作成する手引書等を使った普及啓発活動を行うことにより、日常的な水を大切に使う社会の構築と災害時の生活水確保を見据えた施策を促進することを目的とするものである。

## 第2章 事業の内容

本事業における検討業務の手順は図 I-2-1 に示すとおりであり、作業項目は次の3項目である。

### 1) 災害時における生活用水確保対策及び雨水地下水現状等調査

沖縄県内避難所の生活用水の確保状況調査及び東日本大震災時における避難所施設等の生活用水の対応状況調査を行う。

### 2) 雨水導入モデル仕様作成

災害時の必要水量を設定し「モデル仕様の検証」及び「導入モデルの検証」を行う。また、導入モデル仕様は検討会議に諮るものとする。

### 3) 普及啓発業務

次の普及啓発資料を作成する。

- 「雨水利用の手引き」を作成
- ホームページ用データの作成

上記の他に下記のことを行う。

- 本業務受託共同企業体2社のホームページに、地域・離島課ホームページの「雨水利用の手引」のサイトにリンクを貼付
- 啓発用リーフレットを作成
- 雨水利用の学習用教材を作成
- 弊共同企業体構成員が主催するセミナーやイベントで啓発用リーフレットの配布、学習用教材の展示

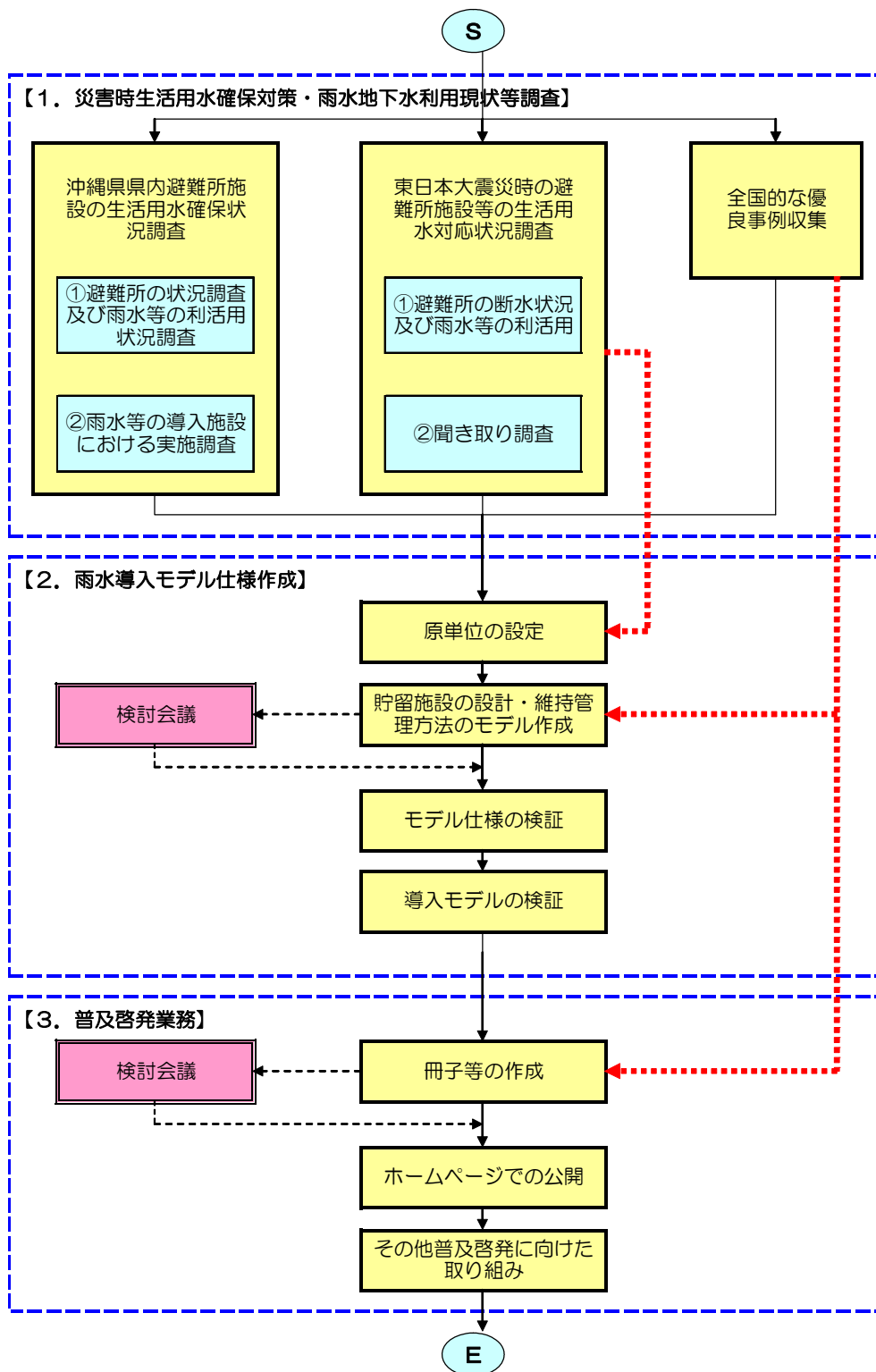


図 I-2-1 業務の手順